



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社丸井グループ
 コード番号 8252 URL <http://www.0101maruigroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 青井 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 村井 亮介 (TEL) 03-3384-0101
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 95,180 | △1.8 | 4,770 | △16.2 | 4,887 | △17.6 | 2,674 | △22.0 |
| 26年3月期第1四半期 | 96,933 | 1.3 | 5,696 | 18.9 | 5,929 | 21.0 | 3,428 | 147.9 |

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 3,929百万円(△12.2%) 26年3月期第1四半期 4,474百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第1四半期 | 9.77 | 9.77 |
| 26年3月期第1四半期 | 12.52 | 12.52 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年3月期第1四半期 | 672,230 | 317,346 | 47.1 | 1,157.59 |
| 26年3月期 | 664,019 | 315,889 | 47.5 | 1,152.28 |

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 316,942百万円 26年3月期 315,446百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |
| 27年3月期 | — | — | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | 9.00 | — | 10.00 | 19.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|------|--------|------|--------|------|--------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 191,000 | △2.5 | 10,000 | △6.7 | 10,000 | △9.7 | 5,000 | △18.6 | 18.26 |
| 通期 | 409,000 | △1.8 | 28,000 | 3.1 | 28,000 | 1.1 | 16,000 | 3.8 | 58.44 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 27年3月期1Q | 318,660,417株 | 26年3月期 | 318,660,417株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期1Q | 44,865,544株 | 26年3月期 | 44,901,353株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 27年3月期1Q | 273,795,118株 | 26年3月期1Q | 273,760,931株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の経営環境は、政府の経済政策や日銀の金融政策などにより、企業収益や雇用情勢に改善が見られたものの、消費税率引上げ後の慎重な購買行動により個人消費が鈍化するなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループでは、当期より3か年の中期経営計画を策定し、最終年度の2016年度の連結営業利益360億円以上、ROE 6%以上をめざしてまいります。段階的な消費税率引上げによる事業環境の変化を乗り越え、新たな成長基盤を確立するとともに、全国展開による収益力の向上にむけて、各事業において取組みをスタートしております。

この結果、当第1四半期の連結売上高は951億80百万円（前年同期比1.8%減）、売上総利益は、カード事業が好調に推移し375億75百万円（同2.6%増）、営業利益は47億70百万円（同16.2%減）、経常利益は48億87百万円（同17.6%減）、四半期純利益は26億74百万円（同22.0%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(小売・店舗事業)

小売・店舗事業では、お客様の価値観の変化に対応するため、従来の衣料品を中心とした店づくりを見直し、お客様からご要望の多い雑貨や飲食など、ライフスタイルに対応したカテゴリーの拡充をすすめております。そのため、従来の仕入販売を中心としたビジネスモデルを転換し、定期借家契約によるテナント導入をすすめ、収益の改善と安定化をはかってまいります。

その第一弾として、5月に「町田マルイ」を全館改装シグランドオープンいたしました。地域のお客様の声を取り入れ「雑貨」や「カフェ」「食」のメニューの品揃えを強化したことで、「気軽に毎日お立ち寄りいただける店」に生まれ変わり、開店以来多くのお客様にご利用いただいております。

また、2016年春に九州初出店となる博多店については、4月に開店準備室を開設し、本格的な店づくりに着手いたしました。7月からは、店づくりやモノづくりに直接ご参加いただけるお客様を募集し、企画会議やアンケートなどを通じて、幅広い年代のお客様にご支持いただけるよう、理想の店・商品づくりをすすめてまいります。

お客様と一緒に開発した新PB商品「ラクチン」シリーズは、アイテム数が48アイテムにまで拡大し、新たにデビューしたレディス・サンダルが大ヒットするなど、好調に推移いたしました。

また、より多くのお客様に「ラクチン」シリーズのモノづくりにご参加いただくため、ネット通販サイトに「シューズLABO」を開設いたしました。コンテンツのひとつ「モノづくりアンケート」では、履きたいデザインや欲しいカラーをお選びいただき商品化するなど、これまでにのべ3万人を超える全国のお客様にご参加いただきました。

さらに、増税後の消費行動の変化を見据えて値頃感のある品揃えを充実したことなどにより、新PBの売上高は前年同期比22%増と順調に拡大し、PB全体の売上高も前年を上回りました。

しかしながら、消費税率引上げにともなう駆け込み需要の反動や、閉鎖店の影響などにより、売上高は733億34百万円（前年同期比5.0%減）、また改装投資による減価償却費の増加もあり、営業利益は11億48百万円（同40.0%減）となりました。

(カード事業)

カード事業では、カード発行拠点を全国に拡大し、事業基盤のさらなる強化をすすめてまいりました。

カード会員数は、前年同期比9%増の555万人となりました。テレビCMによる全国規模のプロモーションでお客様の認知度が向上したことや、スマートフォンで申し込みいただける専用アプリを導入したことで、Webでの申し込みが増加いたしました。

独自の提携カード「コラボレーションカード」については、新たな提携先の開発に取り組まれました。7月からは、国内最大級のテーマパークを運営するハウステンボス株式会社様と協業し、施設内の割引や特典がご利用いただける「ハウステンボスエポスカード」の即時発行を開始し、九州エリアでの認知度を高めてま

います。また、丸井店舗でのイベント出店でお客様にご好評いただいた、女性向けゲームソフトで業界トップのアイデアファクトリー株式会社と、「オトメイトエポスカード」を発行いたします。今後も、お客様にご満足いただける魅力あるサービスをご用意し、提携カードの開発を推進してまいります。

これらの取組みにより、丸井店舗外でのカード発行は1.2倍と拡大し、新規会員数に占める割合は2割にまで高まりました。

また、お得意様づくりでは、引き続きゴールドカード会員の拡大をすすめてまいりました。人気公演や宿泊施設の会員優待、また丸井店舗での期間限定ポイントサービスなどの施策を展開し、会員数は前年同期比36%増の88万人となりました。

以上の結果、外部加盟店でのショッピングクレジットのご利用額は前年同期比22%増と引き続き高伸長し、リボ・分割払債権残高は1,660億円（前年同期比19%増）に拡大いたしました。

キャッシングにつきましては、取扱高は前年同期比10%増、営業貸付金残高は1,268億21百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

さらに、家賃保証や銀行ローン保証など関連ビジネスについても順調に拡大したことから、カード事業の売上高は165億95百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は39億11百万円（同4.9%増）と増収増益となりました。

（小売関連サービス事業）

小売関連サービス事業では、商業施設からの内装工事や広告制作などの受注が拡大したことなどにより、売上高は130億36百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益は7億0百万円（同1.9%増）と増収増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、前期末に比べ82億10百万円増加し6,722億30百万円となりました。これは主に、エポスカードのご利用客数の拡大にともない、キャッシング取扱高や加盟店取扱高が伸長したことなどにより営業債権が20億18百万円増加したことや、投資有価証券が時価評価により17億49百万円増加したことによるものです。

負債合計は、67億53百万円増加し3,548億84百万円となりました。これは主に、有利子負債が129億96百万円増加した一方、買掛金が45億27百万円減少したことによるものです。

純資産は、14億57百万円増加し3,173億46百万円となり、自己資本比率は47.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点においては平成26年5月13日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 30,064 | 31,756 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,323 | 4,605 |
| 割賦売掛金 | 213,466 | 213,879 |
| 営業貸付金 | 125,215 | 126,821 |
| 商品 | 19,285 | 20,013 |
| その他 | 27,626 | 32,103 |
| 貸倒引当金 | △7,440 | △7,470 |
| 流動資産合計 | 414,542 | 421,710 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 67,062 | 67,029 |
| 土地 | 99,402 | 99,402 |
| その他（純額） | 8,599 | 8,994 |
| 有形固定資産合計 | 175,064 | 175,426 |
| 無形固定資産 | | |
| 無形固定資産 | 6,625 | 6,463 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 24,213 | 25,962 |
| 差入保証金 | 37,735 | 37,359 |
| その他 | 5,838 | 5,307 |
| 投資その他の資産合計 | 67,786 | 68,630 |
| 固定資産合計 | 249,476 | 250,519 |
| 資産合計 | 664,019 | 672,230 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 29,975 | 25,447 |
| 短期借入金 | 71,324 | 74,321 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 25,000 |
| コマーシャル・ペーパー | 12,000 | 5,000 |
| 未払法人税等 | 2,211 | 1,602 |
| 賞与引当金 | 4,016 | 2,122 |
| ポイント引当金 | 2,813 | 3,247 |
| 商品券等引換損失引当金 | 150 | 152 |
| その他 | 27,250 | 28,146 |
| 流動負債合計 | 169,740 | 165,040 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 82,000 | 97,000 |
| 長期借入金 | 79,500 | 76,500 |
| 利息返還損失引当金 | 6,870 | 6,197 |
| 債務保証損失引当金 | 123 | 128 |
| 資産除去債務 | 536 | 537 |
| その他 | 9,359 | 9,481 |
| 固定負債合計 | 178,389 | 189,844 |
| 負債合計 | 348,130 | 354,884 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 35,920 | 35,920 |
| 資本剰余金 | 91,307 | 91,307 |
| 利益剰余金 | 236,274 | 236,477 |
| 自己株式 | △53,832 | △53,789 |
| 株主資本合計 | 309,669 | 309,916 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,776 | 7,026 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,776 | 7,026 |
| 新株予約権 | 39 | 3 |
| 少数株主持分 | 402 | 400 |
| 純資産合計 | 315,889 | 317,346 |
| 負債純資産合計 | 664,019 | 672,230 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 96,933 | 95,180 |
| 売上原価 | 60,303 | 57,604 |
| 売上総利益 | 36,629 | 37,575 |
| 販売費及び一般管理費 | 30,933 | 32,804 |
| 営業利益 | 5,696 | 4,770 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 32 | 28 |
| 受取配当金 | 268 | 277 |
| 償却債権回収益 | 239 | 299 |
| 固定資産受贈益 | 109 | 60 |
| その他 | 41 | 51 |
| 営業外収益合計 | 691 | 717 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 439 | 476 |
| その他 | 18 | 123 |
| 営業外費用合計 | 458 | 600 |
| 経常利益 | 5,929 | 4,887 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 74 | 430 |
| その他 | - | 95 |
| 特別損失合計 | 74 | 526 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,855 | 4,361 |
| 法人税等 | 2,421 | 1,681 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,433 | 2,679 |
| 少数株主利益 | 4 | 5 |
| 四半期純利益 | 3,428 | 2,674 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,433 | 2,679 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,040 | 1,249 |
| その他の包括利益合計 | 1,040 | 1,249 |
| 四半期包括利益 | 4,474 | 3,929 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,469 | 3,923 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 4 | 5 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------|--------|----------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 小売・店舗 事業 | カード事業 | 小売関連 サービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 75,805 | 13,926 | 7,200 | 96,933 | — | 96,933 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,377 | 524 | 4,518 | 6,420 | △6,420 | — |
| 計 | 77,183 | 14,451 | 11,719 | 103,353 | △6,420 | 96,933 |
| セグメント利益 | 1,913 | 3,727 | 687 | 6,327 | △631 | 5,696 |

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去674百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,305百万円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の費用です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------|--------|----------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 小売・店舗 事業 | カード事業 | 小売関連 サービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 72,097 | 16,072 | 7,010 | 95,180 | — | 95,180 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,237 | 523 | 6,026 | 7,787 | △7,787 | — |
| 計 | 73,334 | 16,595 | 13,036 | 102,967 | △7,787 | 95,180 |
| セグメント利益 | 1,148 | 3,911 | 700 | 5,760 | △989 | 4,770 |

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去310百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,300百万円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の費用です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。